

臨床検査を終了した残余検体の業務、教育、研究のための
使用について

横須賀共済病院中央検査科では、良質な医療を患者さんに提供するために、通常の検査業務に加えて、臨床検査法の精度改良や新たな検査・機器導入時の基礎的検討、異常値出現の原因解明などの研究活動も行っています。これらの研究活動の基礎となるのが、臨床検査を終了した残余検体の再利用です。

検体は必要な検査をすべて終了したのち、一定期間保存され廃棄されます。

残余検体の再利用については、「臨床検査を終了した検体の業務、教育、研究のための使用について—日本臨床検査医学会の見解—」を遵守し行っております。

患者さんにおかれましては、これらの残用検体の再利用の趣旨をご理解頂きましてご協力を賜りますようお願い申し上げます。

残余検体の再利用時には、患者さんの個人情報（氏名・生年月日・住所・電話番号・ID番号など）はすべて匿名化されてから解析されますので、個人情報が漏れることはありません。研究成果は、医学の発展のために学会発表や学術論文発表などをさせていただくことはありますが、その際も個人の特定が可能な情報はすべて削除いたします。なお研究目的の使用は、院内の適切な審査を経て行います。

患者さんのなかで「同意できない」あるいは「残余検体を使わないでほしい」というご意見をお持ちの方は、大変お手数ですが採血時に担当者までお申し出ください。

連絡先 横須賀共済病院 中央検査科
電話 046-822-2710 (代表)
内線 : 2378